

平成24年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	国際連携戦略推進費	担当部局庁	地球環境局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度	担当課室	国際連携課	課長 塚本直也			
会計区分	一般会計	施策名	2-2 地球環境保全に関する国際連携・協力				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	環境基本法第5条(国際的協調による地球環境保全の積極的推進)	関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	各国や関連国際機関のポジション及び国際的な議論の動向を精査し、また「経済」「社会」と「環境」との関連性も考慮したうえで、国際社会に対する知的貢献、建設的提案を行う。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①国連持続可能な開発会議(リオ+20)に関する調査分析 → リオ+20に係る各国政府、国際機関(国連、OECD等)のポジション、取組状況等に関する調査分析、及び国際環境戦略の検討。 ②地球環境行動会議(GEA)と実施する国際会議の開催 → 国内外の各界(政界、学会、産業界)指導者等を招集した国際会議を、GEA及び関係省庁と共催。 ③環境と貿易に関する調査分析 → 環太平洋パートナーシップ協定(TPP)をはじめとする経済連携協定が我が国及び関係各国の環境に与える影響等を分析。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	-	-	70	68	79
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
		計	-	-	70	68	79
	執行額	-	-	62	-	-	
執行率(%)	-	-	88.9%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	国際連携戦略の推進に関する成果を数値で表すことは困難。	成果実績	-	-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	国際連携戦略の推進に関する活動指標・実績を数値で表すことは困難。	活動実績(当初見込み)	-	-	(-)	(-)	(-)
単位当たりコスト	- (円/ - )	算出根拠		-			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	環境保全調査費	67	77	各国や関連国際機関の動向分析調査について、諸外国の情報収集先を精査するなど必要最低限の予算となるよう減額した。一方で、「包括的経済連携に関する基本方針」(平成22年11月閣議決定)に基づいた、環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)交渉等の議論の活発化に伴う調査・分析等に必要経費、及び「国際広報連絡会議」(平成24年3月設置)を契機とする戦略的国際広報の推進に必要な経費を拡充した。また、公開プロセスによる環境省行政事業レビューの結果を踏まえ、国際連合環境計画(UNEP)拠出金等への評価システム構築のために必要な経費を新規で計上した。			
	委員等旅費	2	2				
計	68	79					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	持続可能な開発の実現に向けた今後の方向性を決める重要な会合であるリオ+20や、TPP等の経済連携協定における各種交渉については、国益に関わる案件のため、国が戦略的に検討していくべき事項である。また、国際会議を通じた我が国の知見を世界へ発信する事業も、国が率先して取り組むべき事項である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	事業を実施する委託・請負業者については、競争入札等の上、選定している。また、資金の用途が当方の目的にかなったものとなるように、業者との調整を定期的実施しながら、事業を実施している。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	リオ+20交渉会合における各国のポジション整理を行うことで、その後の我が国の交渉会合での方針の設定に貢献。 環境と貿易に関しては、流動的な貿易協定交渉の動向を常に注視して分析し、その状況等を省内勉強会を開催するなどして、組織への貿易に関する知識の蓄積を図った。地球環境行動会議(GEA)については、世界各国から学者や有識者を募り、会議で採択された宣言を世界へ向けて発信。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	事業の目的の重要性に鑑み、事業の効率的実施に十分配慮しつつ、その時々々のニーズに応じた国際動向の調査分析と国際連携戦略の構築を進めていく必要がある。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	国際動向調査について、過去の実績等を分析し既存の知見を活かすことにより、予算額を節減すべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	既存の知見等を活かし、環境省ホームページの翻訳や、人件費等を見直し、必要最低限の予算となるよう、概算要求額を縮減した。一方で、TPP交渉等の議論の活発化に伴う調査・分析等に必要な経費、及び戦略的な国際広報の推進に必要な経費を拡充し、UNEP拠出金等への評価システム構築のために必要な経費を新規で計上した。		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	新23-001

※平成23年度実績を記入

環境省  
62百万円

・「リオ+20」の主要テーマ及び貿易と環境に関するものに関する調査・分析  
・GEA国際会議の開催

【総合評価入札／請負】

A (株)三菱総合研究所  
33百万円

・リオ+20に関連する国際環境政策の動向に係る基礎調査  
・リオ+20国内準備委員会設置・運営  
・OECD「グリーン成長戦略」等関連基礎調査

【総合評価入札／請負】

B 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)  
11百万円

多国間・二国間の貿易・投資協定と環境保護の関係・環境保護の適切な位置付けに関する基礎的検討

【一般競争入札／請負】

C (株)サイマル・インターナショナル  
14百万円

GEA国際会議の開催

【少額随契／請負】

D (公財)地球環境戦略研究機関  
1百万円

アジアの都市における環境保全及び持続可能な社会の構築に関する調査

【少額随契等／請負】

E 民間企業等(29社)  
4百万円

・国際会議における通訳業務、車両等の借上、国際携帯電話の利用等

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

A (株)三菱総合研究所			E (株)サイマル・インターナショナル		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
			雑役務費	通訳業務	1
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           本業務は請負契約であり、成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。         </div>				
計		33	計		1
B 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           本業務は請負契約であり、成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。         </div>				
計		11	計		0
C (株)サイマル・インターナショナル			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
会議準備費	人件費、国内公式参加者旅費等	2			
招聘費	海外招聘社の航空券、宿泊費等	6			
会場、備品借上費	会場、コピー機、複合機、ノートPC等借上	24			
印刷制作費	案内状、マニュアル、台本等の印刷、翻訳	4			
人件費	会議コーディネーター等	4			
会議運営費	備品、機材借上	1			
料飲費	コーヒーブレイク、昼食等	1			
成果物費	テープ起こし、写真編集、報告書作成	1			
業務管理費		2			
消費税		2			
計	6省全体での契約額の内訳を記載(環境省負担分はこの内 14百万円)	47	計		0
D (公財)地球環境戦略研究機関			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           支出額が100万円未満のため、記載を省略。         </div>				
計		1	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)三菱総合研究所	平成23年度リオ20国内準備委員会設置運営業務	33	2	100%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)	平成23年度貿易と環境に関する基礎検討調査業務	11	2	80%

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)サイマル・インターナショナル	平成23年度GEA国際会議開催支援業務	14	2	83%

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(公財)地球環境戦略研究機関	平成23年度アジアにおける環境保全と持続可能社会の構築に関する調査業務	1	随意契約	—

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)サイマルインターナショナル	OECD環境大臣会合における通訳業務	1	単価契約	—
2	(株)サイマルインターナショナル	UNEP第12回管理理事会特別会合における通訳業務	1	単価契約	—
3	(株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ	海外用携帯電話利用料	1	随意契約	—
4	(株)アーバンコネクションズ	リオ+20成果文書への国内準備委員会インプット案翻訳業務	0.3	随意契約	—
5	DODO World	第12回UNEP特別管理理事会における車両借上	0.2	随意契約	—
6	(株)アーバンコネクションズ	リオ+20成果文書ゼロドラフト翻訳業務	0.1	随意契約	—
7	在中国レンタカー会社	サマーダボスにおける車両借上	0.1	随意契約	—
8	CHABE LIMOUSINES	G8ドーヴィル・サミットにおける車両借上	0.1	随意契約	—
9	(株)サイマルインターナショナル	ナイズ米副国務長官と細野大臣のバイ会談及びブラジル大使館主催日伯非公式会合レセプション通訳業務	0.1	単価契約	—
10	(株)サイマルインターナショナル	アミン国際再生可能エネルギー機関(IRENA)事務局長と横光環境副大臣とのバイ会談における通訳業務	0.1	単価契約	—

